

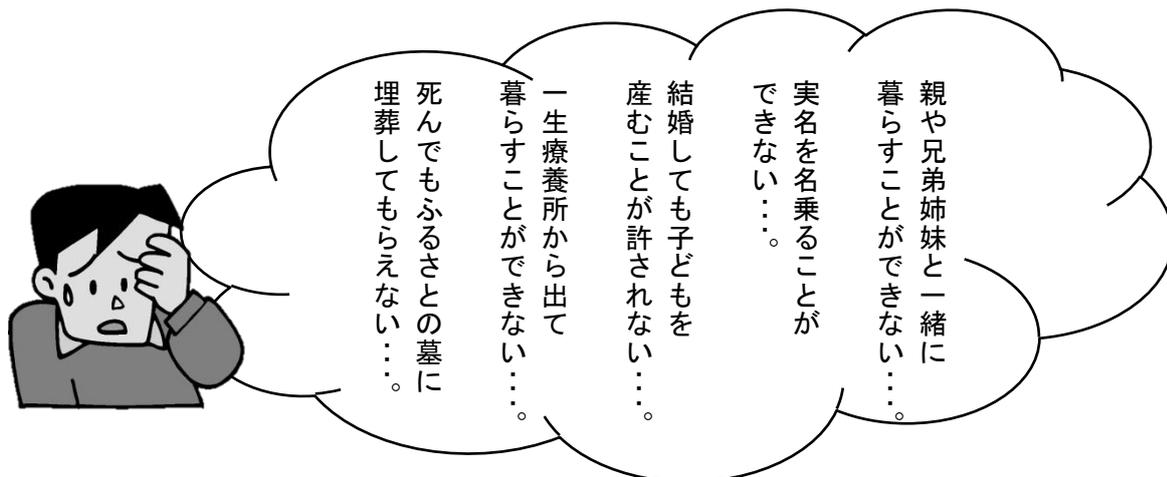
# ハンセン病を正しく理解しよう！

～間違った知識や誤解はありませんか？～

わたしたちにできること  
学校や家庭でも話し合ってみませんか

## あなたは想像できますか？

こうした生活をハンセン病元患者等のみなさんは長い間、強いられてきました。



皆さんと同じ人間なのに、あやまった国の政策などによって、長い間多くの偏見と差別に苦しみ、あたりまえのことができなかった人たちがいます。

しかし、今まで間違えて伝えられてきた病気、そしてその実態が、ようやく**正しく**伝えられるようになりました。

### 1. ハンセン病は治る病気です

ハンセン病は皮膚や末梢神経の病気で、外見上に特徴的な変化が生じたり、熱さ、冷たさ、痛みなどの感覚が麻痺するため、火傷や傷が出来ても分からなかったりすることがあります。

不治の病ではなく、現在では、いくつかの薬剤を併用する「多剤併用療法」等の適切な治療により完治し、早期に治療すれば、身体に障害を残すことはありません。

**治療後に残る変化は、単なる後遺症にすぎません。**今、療養所で生活している人のほとんどは、もう治っています。

### 2. 日常生活で感染することはありません

感染力は非常に弱く、入浴・飲食などの日常生活で感染することはありません。

感染しても発病することはまれで、これまで療養所の医師や看護師などの職員にハンセン病になった人はいません。

発病しても、すぐれた治療薬により外来治療で完治します。

### 3. 遺伝する病気ではありません

以前は患者が一家族内に現れることも多く、潜伏期間が数年と長いことなどから、遺伝病と誤解されることもありましたが、「らい菌」による感染症です。

